

## 平成 24 年度自治医科大学大学院看護学研究科 FD 活動のまとめ

### 1. FD 研究会の実施

#### 1) 第 1 回大学院看護学研究科 FD 研究会

講演「修正版グラウンデッド・セオリーアプローチ」

木下康仁教授(立教大学)を講師に、修正版グラウンデッド・セオリーアプローチについて、解説と質疑応答を行った。

日程 平成 25 年 2 月 22 日(金) 13:30~16:00

会場 医学部教育研究棟会議室

#### 2) 第 2 回大学院看護学研究科 FD 研究会

討議「専門看護師教育課程における専門看護実習の取り組むべき課題と展望」

博士前期課程における「専門看護実習」科目の担当教員による現状と課題について発表と討議を行った。

日程 平成 25 年 3 月 11 日 9:00~11:30

会場 自治医科大学看護学部校舎 大教室Ⅲ

### 2. 研究科長と大学院生との懇談会

年 2 回、看護学部校舎内の学部長室において、講義・演習、研究指導、および学習環境について大学院生から意見を聞き、必要な対応を行った。

#### 1) 第 1 回懇談会

(1) 日程 平成 24 年 9 月 27 日(木) 17:30~18:30

(2) 参加者 計 16 名(出席率 94.1%)

内訳 前期課程 1 年次 5 名、2 年次 10 名  
後期課程 1 年次 1 名

(3) 得られた意見・要望

講義・演習については特に意見はなく、研究指導については、「指導を受けることによって、少しずつ前進していることを実感している」等の意見があった。学習環境については、図書館の貸出冊数、コピー機の使用、AV 機器の貸出、研究室の清掃や電気容量等について、入学時オリエンテーション内容も含めた意見や要望が出された。

(4) 要望に対する対応

① 看護学研究科の電気容量を増設した。

② 次年度の入学時オリエンテーションにおける学習環境についてより詳細に説明する。

③ 大学院生の意見・要望をよりタイムリーに検討できるように、各学年に担当学生を置き、看護学務課が相談を受け、必要時、看護学研究科幹事会で検討できるように仕組みを整えた。

#### 2) 第 2 回懇談会

(1) 日程 平成 25 年 3 月 4 日(月) 17:00~18:00

(2) 参加者 計 6 名(出席率 100%) 内訳:平成 24 年度博士前期課程修了予定者

(3) 得られた意見・要望

講義・演習および学習環境について特に意見はなく、研究指導については「丁寧に指導してもらった」との評価を得た。また、今年度から本看護学研究における国際交流として、東アジアの看護系博士課程の集まりである EAFONS (THE EAST ASIA FORUM IN NURSING SCHOLAR: 東アジア看護学研究フォーラム) における発表のための派遣支援をすることになったことについて、派遣された学生から「なかなか得られない機会であり、非常に勉強になった」との意見があった。

なお、学位論文発表会における教員の姿勢、学位論文の資料部分の作成要領について、改善を求める意見があった。

(4) 要望に対する対応について

① 学位論文発表会に参加する教員の意識および座長の進行について改善を図ることとした。

② 学位論文の資料部分の作成要領を平成 25 年度より一部変更することとした。

### 3. 看護学研究科担当教員間の評価

平成 25 年度から実施する準備を整えた。

#### 4. 科目責任者による授業改善の取り組み

##### 1) 博士前期課程

共通科目科目名	科目責任者	授業改善の取り組み
地域医療論	春山 早苗	最終回を受講生より授業に対する感想・意見を聞き、担当教員及び非常勤講師からの意見も併せて、次年度の授業改善に努めた。
看護管理・政策論	春山 早苗	科目責任者の授業最終日に受講生より授業に対する感想・意見を聞き、非常勤講師からの意見も併せて、次年度の授業改善に努めた。
看護倫理	小原 泉	科目責任者が直接担当する授業の際に受講生の意見・感想を聞き、講義の理解度、演習課題の難易度や取り組み状況、有用性や満足度を確認して授業改善に努めた。
看護実践研究論	半澤 節子	授業最終回に、受講生から授業全体に対する感想を聞き、次年度の授業改善に努めた。これまでは特別要望はなく、授業内容に対して概ね好評を得ている。また、受講生の課題への取り組み状況については、適宜担当教員相互に情報交換を行い、次年度の授業改善につなげている。
看護継続教育論	本田 芳香	授業実施中、適宜授業内容や運用方法について受講生からの意見や要望を聞き、適宜授業改善に反映させ、科目担当者からは、授業終了後に授業目標や運用について意見を聞き、次年度の授業改善に努めた。
コンサルテーション論	永井 優子	課題レポートやプレゼンテーションにおける受講生の反応等を検討し、広瀬非常勤講師とともに、演習部分について振り返りを行い、次年度の、授業内容と方法等について検討した。
地域調査法	渡邊 亮一	授業中に、受講生より授業に対する感想・意見・要望等を聴取し、また科目担当者からも授業終了後に授業に対する意見を聞き、次年度の授業改善に努めた。
フィジカルアセスメント特論	本田 芳香	授業最終回に、受講生から意見や要望を聞き、科目担当者からは授業終了後に授業目標や運用について意見を聞き、次年度の授業改善に努めた。

##### (1) 専門科目

地域看護管理学領域の老年看護管理学科目群および看護技術開発学領域は開講されなかった。

領域	主科目群	科目責任者	授業改善の取り組み
母子看護学	小児看護学	横山 由美	受講生への課題の取り組み状況及び理解状況、学習目標を踏まえて、学生の科目に対する課題を明確にしなが、次年度の授業改善に努めた。
	母性看護学	成田 伸 野々山 未希子	受講生の各科目・単元の受講時の様子、科目担当者や非常勤講師からの意見を検討するとともに、周産期医療状況の急速な変化について受講生や修了生と話し合い、受講生の学習が時代に適合し、より効果的なように、授業内容の追加や改善に努めた。
健康危機看護学	クリティカルケア看護学	中村 美鈴	授業中や最終回に、受講生から授業の内容や進め方について意見や要望を聞き、さらに科目担当者から授業終了後に授業目標や運用について意見を確認し、次年度以降の授業改善に努めた。
	精神看護学	半澤 節子 永井 優子	授業最終回に、受講生から授業全体に対する感想を聞き、次年度の授業改善に努めた。また、要望がある場合には、適宜話し合う場を設け、授業改善に努めた。
がん看護学	がん看護学	本田 芳香 小原 泉	各学科目終了後、面接を行い授業目標や内容について受講生の意見などを聞き、次年度の授業改善に努めた。また要望などがある場合、適宜話し合う場を設け、授業改善に努めた。
地域看護管理学	地域看護管理学	春山 早苗	各科目の学習目標の達成状況及び学生の感想・意見に、担当教員及び非常勤講師からの意見も併せて、次年度の授業改善に努めた。修了時にも受講生の感想・意見を聞き、研究指導等に反映しているとともに、後輩へのアドバイスを聞き、次年度入学生や在學生に伝えている。

## 2) 博士後期課程

### (1) 専門関連科目

科目名	科目責任者	授業改善の取り組み
異文化精神医療論	大塚公一郎	最終回に受講生より授業に対する感想・意見を聞き、担当教員及び非常勤講師からの意見も併せて、次年度の授業改善に努めた。
地域保健医療研究論		未開講

### (2) 専門科目

科目名	科目責任者	授業改善の取り組み
広域実践看護学特論Ⅰ ヘルスケアシステム 研究法	春山 早苗	受講生の課題への取り組み状況及び学習目標の達成状況を踏まえて、担当教員間で話し合い、次年度の授業改善に努めた。
広域実践看護学特論Ⅱ クリニカルケア研究法	中村 美鈴	授業中や最終回に、受講生から授業の内容や進め方について意見や要望を聞き、さらに科目担当者から授業終了後に授業目標や運用について意見を確認し、次年度以降の授業改善に努めた。
広域実践看護学特論Ⅲ メンタルヘルス研究法		未開講
広域実践看護学特論Ⅳ 看護教育・管理研究法		未開講
広域実践看護学演習 〈ヘルスケアシステム〉 〈メンタルヘルスケア〉	半澤 節子	最終回に受講生から授業に対する感想を聞き、次年度の授業改善に努めた。また、受講生の課題への取り組み状況及び学習目標の達成状況については、適宜担当教員相互に情報交換を行い、次年度の授業改善につなげている。
広域実践看護学特別研究	春山 早苗	個別指導及び合同研究セミナーから受講生の進捗状況を把握し、副研究指導教員からの意見も得て、研究指導に反映させている。
	成田 伸	個別指導及び合同研究セミナーから受講生の進捗状況を把握し、副研究指導教員からの意見も得て、研究指導に反映させている。

## 5. 意見箱について

投稿された意見はなかった。